

緑・自然環境保全の方針（案）に関する意見と対応その3

平成18年11月26日

- 1 方針案P5の現況及び課題における6項目及び7項目の表現が、「課題」を示した記載になっていない。

<対応>

「○海浜植生を保全するためには、海浜の一般的なレクリエーション区域と分離した保全区域を設定することが課題である。」「○多くの種類の海浜植物を守るためには、保全区域としてのまとまった規模の面積確保が課題である。」に改めます。

- 2 方針案P5の現況及び課題における2項の中の「砂浜に生息する植物」は、「砂浜に生育する植物」の方が正しいのではないかと。2項目の文章の意味がわかりにくい。

<対応>

「○本来の植生の保全・復元のためには、クロマツの植栽とあわせ、コウボウムギやハマヒルガオ等の砂浜に生育する植生の保全が課題である。」に改めます。

- 3 方針案P5の現況及び課題における「①海岸における自然潜在植生」は、「①海岸における潜在自然植生」ではないかと。

<対応>

ご指摘の通り改めます。

- 4 方針案の構成を「1 現状と課題 (1) 海岸の動植物 (2) 茅ヶ崎海岸の海岸地形 (3) 茅ヶ崎海岸の環境」を「1 現状と課題 (1) 動植物 (2) 地形、地質、地下水(無機自然環境) (3) 生活環境」に改めたらどうか。そして、「地下水は、人為的に著しく低下させない、汚染させないこと」を謳うべき。また、岩礁である平島の影響で砂浜が海に突き出た形状をしていること。おおまかな地質(岩種、砂の構成粒子)についても記載してほしい。

<対応>

ご指摘の点を踏まえ、構成を整理します。しかしながら、地質については、データの収集ができるかどうか微妙ではありますが、努力いたします。